

コンパクトディスク チェンジャーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



CDX-454RF

**警告**

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

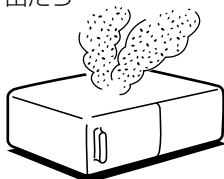
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡やけがなど人身事故の原因となります。

**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

⚠ 警告・⚠ 注意	4
▶ 準備	
まず、本機をリセットする	6
CDを入れる	7
送信周波数を設定する	9
▶ ここだけ読んでも使えます	
CDを聞く	10
▶ その他の操作	
出力レベルを設定する	13
重低音を強調する	14
付録	
使用上のご注意	15
各部のなまえ	17
故障かな？	18
保証書とアフターサービス	19
主な仕様	20



火災



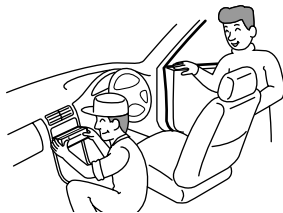
感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

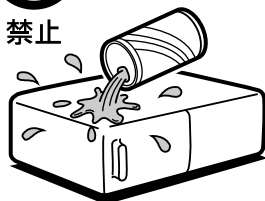


内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

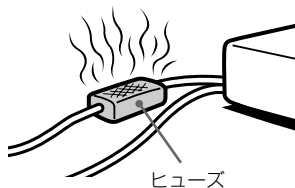


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止

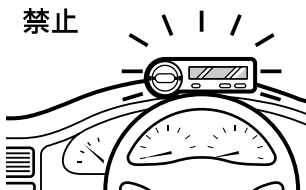


前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



禁止



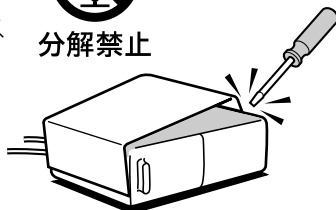
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



禁止

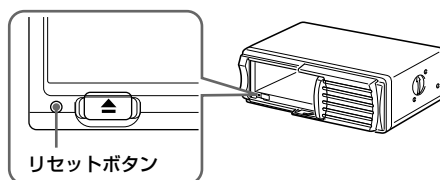


はじめに

本機に接続したCDチェンジャーの音声をFM信号に変換して送信し、FMチューナーで受信して聞くことができます。

まず、本機をリセットする

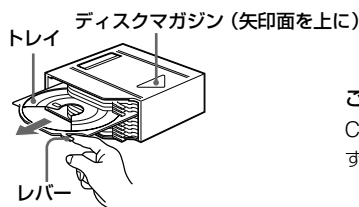
初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、CDチェンジャーのリセットボタンをつま楊子の先などで押す。



CDを入れる

準備

1 ディスクマガジンからトレイを1枚ずつ引き出す。



ご注意

CDの落下防止のためにトレイは1枚ずつ引き出してください。

本機のディスクマガジンはXA-250/250Rをお使いください。XA-10B/XA-350はお使いになれません。

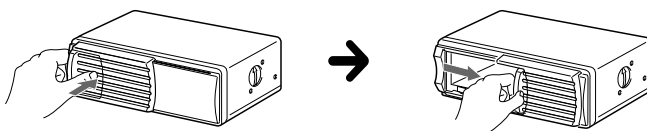
2 ディスクマガジンにCDを入れる。



ラベル面を上にして入れます。

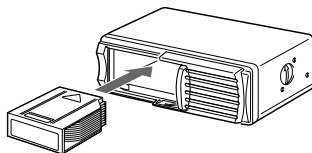
各トレイに1枚ずつ (10枚まで)

3 ドアを押し、ロックを外して矢印の方向に開く。



けがの原因となりますので、CDチェンジャーの内部に手を入れないでください。

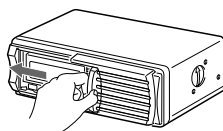
4 ディスクマガジンをCDチェンジャーに入れる。



ご注意

- ディスクマガジンが確実にロックするまで押し込んでください。
- ほこりや異物が入るとCDチェンジャー内部の読み取りレンズが汚れます。

5 ドアを閉める。

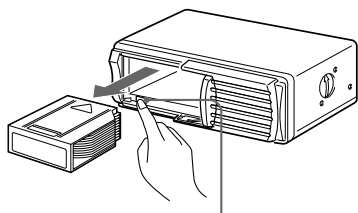


次のページへつづく

CDを入れる (つづき)

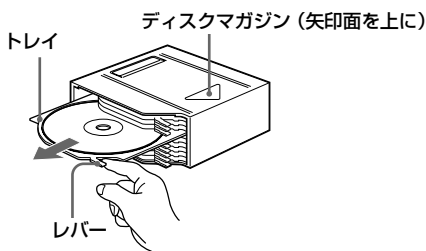
CDを取り出す

1 CDチェンジャーからディスクマガジンを取り出す。



△ (イジェクト) ボタン

2 ディスクマガジンからCDを取り出す。

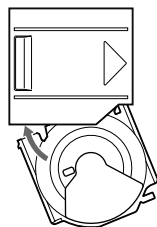


ご注意

8cmCDを聞くときは、ソニーCDシングルアダプターCSA-8 (別売り) をお使いください。その他のアダプターをご使用になりますと、動作しない場合があります。またソニーのアダプターをご使用になる場合は、アダプターの3つの爪を確実にディスクに取り付けてください。アダプターを使わないと故障の原因になります。

トレイがディスクマガジンから外れてしまった場合

通常トレイはディスクマガジンから外れないようになっています。もし外れてしまった場合は、右図のようにトレイの切り込みのあるほうを自分のほうに向けて右端をディスクマガジンに差し込んでから、左端をカチッと音がするまで差し込んでください。

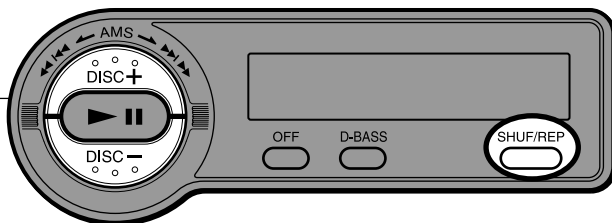


ご注意

トレイは必ず表裏正しく差し込むようにしてください。

送信周波数を設定する

準備



本機ではCDをFMチューナーで聞きます。そのため、本機で設定している（本機からFMチューナーへ送信する）周波数と同じ周波数のFM放送があると、CD再生時に雑音が入ることがあります。その場合は本機の送信周波数を変えてください。初期値は88.3MHzです。



1 SHUF/REPボタンを周波数が表示されるまで2秒以上押す。



2 DISC+/- ボタンを繰り返し押して、周波数を選ぶ。

DISC- ボタンを押すたびに周波数は次のように切り換わります。

88.3 MHz → 89.9 MHz → 89.7 MHz → 89.5 MHz → 89.3 MHz → 89.1 MHz → 88.9 MHz → 88.7 MHz → 88.5 MHz

DISC+ ボタンを押すと、逆順に表示されます。



3 最後にSHUF/REPボタンを2秒以上押す。

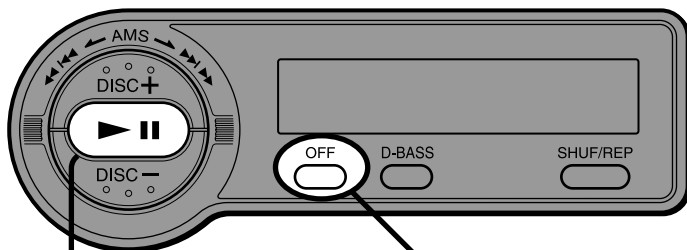
ご注意

本機の送信周波数を変えたときは、必ずFMチューナーに登録（プリセット）する周波数も変えてください。

CDを聞く

1 カーオーディオのFMチューナーを 本機で設定した周波数に合わせる

初期値は88.3MHzです。



電源を切る
オフ
(OFFボタン)

2 ▶||ボタンを押すと 再生が始まる

プレイ/ポーズ
(▶||ボタン)



再生中に押すと一時停止します。



音量／音質について

カーオーディオ側で調節します。

ご注意

- CD再生を止めるとスピーカーからザーという雑音ができます。カーオーディオの音量を下げてから再生を止めるようにしてください。
- ディスプレイの▶||ボタンを押すと、自動的にCD再生がはじまります。

曲の頭出しをする (AMSコントロール)

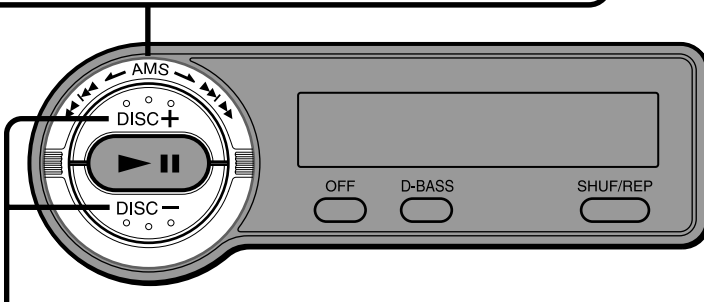


とばしたい曲の数だけ押し下げます。

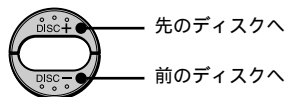
聞きたいところを探す



コントロールを押し下げつづけ、聞きたいところで離します。



ディスクの頭出しをする (ディスク +/- ボタン)



押した回数だけ、前または先のディスクの頭出しをします。

CDを聞く (つづき)

繰り返し聞く (リピート演奏) シャッフル リピート (SHUF/REPボタン)

再生中に繰り返し押し、表示を切り換えます。

押すたびに以下の順番で表示が変わります。

→SHUF 1→ SHUF 2→REP 1→ REP 2→消灯

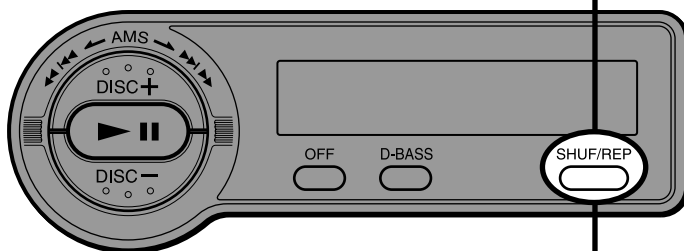
SHUF/REP



「REP1」: 再生中の曲を繰り返す。

「REP2」: 再生中のディスクを繰り返す。

表示を消すと、ふつうの再生に戻ります。



曲順を変えて聞く (シャッフル演奏) シャッフル リピート (SHUF/REPボタン)

再生中に繰り返し押し、表示を切り換えます。

押すたびに以下の順番で表示が変わります。

→SHUF 1→ SHUF 2→REP 1→ REP 2→消灯

SHUF/REP

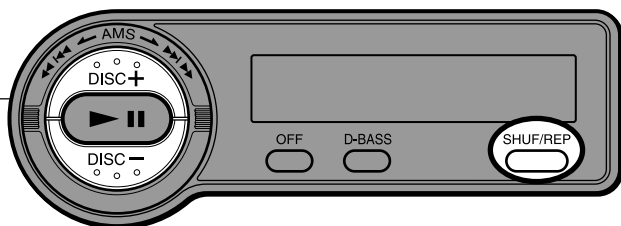


「SHUF1」: 再生中のディスクのすべての曲を順不同に再生する。

「SHUF2」: チェンジャー内のすべての曲を順不同に再生する。

表示を消すと、ふつうの再生に戻ります。

出力レベルを設定する



カーオーディオのFMチューナーの入力レベルに合わせて本機の出力レベル (LEVEL1~5) を設定できます。

ふつうは初期値 (LEVEL3) で使用しますが、必要に応じて切り換えてください。

SHUF/REP



1 SHUF/REPボタンを2秒以上押す。

SHUF/REP

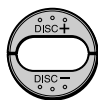


2 もう一度SHUF/REPボタンを短く押す。



LEVEL 3

初期値



3 DISC + / - ボタンを繰り返し押して、出力レベルを選ぶ。

DISC - ボタンを押すとレベルが低くなります。



LEVEL 1

DISC + ボタンを押すとレベルが高くなります。



LEVEL 5

SHUF/REP

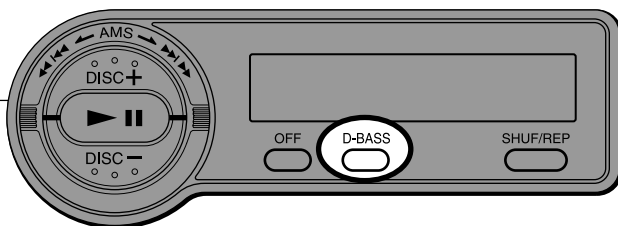


4 最後にSHUF/REPボタンを2秒以上押す。

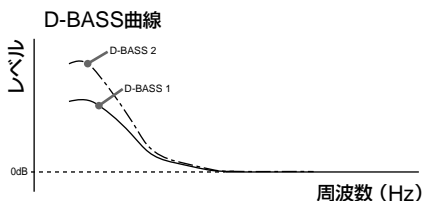
ご注意

出力レベルを4または5に設定した場合、お聞きになるCDによっては音が歪んだり雑音が発生したりすることがあります。その場合は、本機の出力レベルを下げた後、カーオーディオの音量を上げて行き、お好みの音量でお聞きください。

重低音を強調する



D-BASS機能（ダイナミックベース）は低音域を強調するため、同じ音量で力強い低音を楽しめます。



D-BASSボタンで低音を調整する



D-BASSボタンを繰り返し押して、好みの設定に切り換える

ボタンを押すごとに表示が

→ D-BASS 1 → D-BASS 2 → 消灯 →

と切り換わります。

数字が大きいほど低音が強調されます。

通常に戻すときは、D-BASSボタンで消してください。

ご注意

- 出力レベルを4、5に設定しD-BASSをお使いになった場合、D-BASS OFF時に比べて音量が小さくなりますが、歪みを抑えるためで、故障ではありません。カーオーディオ側で音量を調整してお使いください。
- D-BASS 2時、お聞きになるCDによっては歪みが発生することがあります。その場合、D-BASS 1にするか、出力レベルを下げてお使いください。

使用上のご注意

ディスプレイの表面を傷めないために

ディスプレイ表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

結露について

寒いときヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はサービス窓口にお申し付けください。

ディスクについて

- ディスクの汚れやゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



記録面に触れないように持つ。



禁止



ディスクに紙など貼らない。
キズを付けない。

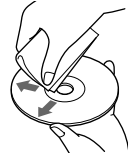
- ディスクケースまたはマガジンに入れ、直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところを避けて保管してください。



禁止




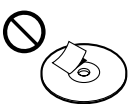

- 再生する前に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを市販のクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。
- ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。



使用上のご注意（つづき）

こんなディスクは使わないでください

本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- 中古やレンタルCDで、シールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。
- レンタルCDでシールなどがめくれているもの。
- お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。

ラベルやシールを貼付したディスクは使わないでください

次のような故障の原因となることがあります。

- ラベルやシールが本機内ではがれ、ディスクが取り出せなくなります。
- 高温によってラベルやシールが収縮してディスクが湾曲してしまう為、信号の読み取りができなくなります。（再生できない、音飛びがするなど）
- このようなディスクがさらにディスクマガジン内の他のディスクを傷つけることがあります。

本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星形やハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

CD-R/CD-RWについて

- 本機はお客様が編集された音楽用のCD-R*（レコーダブル）ディスクを再生することができません。ただし、録音に使用したCD-RレコーダーやCD-Rディスクの状態によっては再生できない場合があります。
 - ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-Rディスクは再生できません。
 - CD-RW（リライタブル）ディスクは再生できません。
- * 音楽用CD-Rディスクには下記のマークが印刷されています。



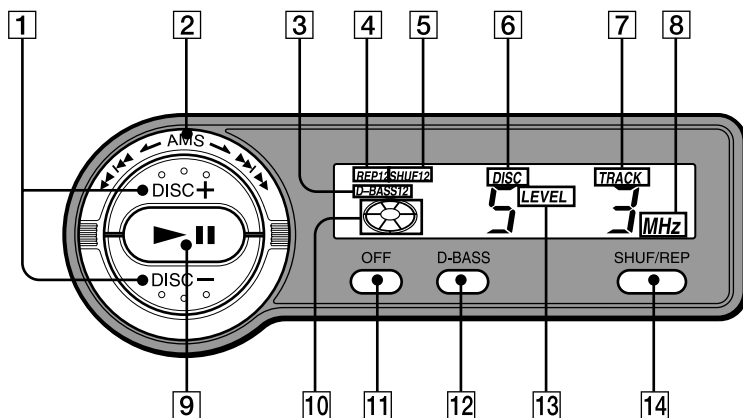
下記のマークが印刷されているディスクは、音楽用CD-Rではありません。



各部のなまえ

ディスプレイ (RM-X82RF)

●内のページに詳しい説明があります。



- ① ディスク DISC+/- (ディスク切り換え) ボタン
● ⑨ ⑪ ⑬
- ② エー・エム・エス AMS (早送り・早戻し／頭出し) コント
ロール ● ⑪
- ③ ディー・ベース D-BASS (低音強調) 表示
- ④ リピート REP (リピート演奏) 表示
- ⑤ シャッフル SHUF (シャッフル演奏) 表示
- ⑥ ディスク DISC (ディスク番号) 表示
- ⑦ トラック TRACK (曲番号) 表示

- ⑧ MHz (周波数) 表示
- ⑨ シー・ディー ▶▶ (CD再生／一時停止) ボタン ● ⑩
- ⑩ シー・ディー CD再生／一時停止表示
- ⑪ オフ OFF ボタン ● ⑩
- ⑫ ディー・ベース D-BASS (低音強調) ボタン ● ⑭
- ⑬ レベル LEVEL (出力レベル) 表示
- ⑭ シャッフル リピート SHUF/REP (シャッフル演奏／リピート演奏／周波数設定／出力レベル設定) ボタン ● ⑨ ⑫ ⑬

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
操作ができない。	<ul style="list-style-type: none">内蔵のマイコンが誤動作している。 →CDチェンジャーの▲（イジェクト）ボタン横のリセットボタンを押す。接続コード類がしっかり差し込まれていない。
音がとぶ。	<ul style="list-style-type: none">CDチェンジャーが不安定な場所に取り付けてある。 →頑丈な場所に取り付け直す。ディスクがひどく汚れている。→ディスクをクリーニングする。ディスクにキズがついている。→ディスクを交換する。

CDのエラー表示

CDチェンジャーが誤作動すると、エラー表示が約5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
NO MAG	ディスクマガジンがCDチェンジャーに入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CDチェンジャーに入れる。
NO DISC	CDチェンジャーのディスクマガジンにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
ERROR	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングする。
RESET	何らかの原因でCDチェンジャーが動作しない。	CDチェンジャーの▲（イジェクト）ボタン横のリセットボタンを押す。
NO DISCS	CDチェンジャー内のディスクが何らかの原因で全て再生できない。	ほかのディスクに入れ換える。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではカーオーディオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

CDチェンジャー (CDX-454RF)

型式	コンパクトディスクデジタル オーディオシステム
ワウフラッター	測定限界以下
出力端子	ディスプレイコントロール出力 端子 FM出力端子 電源端子
消費電流	800 mA (ディスク再生時) 800 mA (ディスクローディン グまたはイジェクト時) -10°C～+55°C
使用温度範囲	約262×90×185 mm (幅/高さ/奥行き)
寸法	約2.1 Kg
質量	88.3 MHz/88.5 MHz/ 88.7 MHz/88.9 MHz/ 89.1 MHz/89.3 MHz/ 89.5 MHz/89.7 MHz/ 89.9 MHz (切り換え式)
使用周波数	

リレーボックス

寸法	40×40×27 mm
質量	140 g

ディスプレイ (RM-X82RF)

寸法	約122×36.5×15.5 mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約255 g

その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
付属品	ディスクマガジン (1) 取り付け/接続部品 (一式) 取扱説明書 (一式) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1)
別売品	CDシングルアダプター CSA-8 日産ダイバーシティシステム 変換コード XA-82 欧州車用アンテナ変換コード RC-50、RC-185 アメリカ車用アンテナ変換コード RC-150GM、RC-160GM ディスクマガジン XA-250 XA-250R

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときの相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター

電話：048-794-5194

受付時間：月～金 9:00～18:00

(祝日、年末年始、弊社休日を除く)

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- 故障状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客室ご相談センターへ

● ナビダイヤル……………  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311

● Fax …………… 0466-31-2595

受付時間：

月～金

9:00～

20:00、

土・日・祝日

9:00～

17:00

<http://www.sony.co.jp/>